



# 由良町公民館だより 2021冬号

令和3年 1月 1日

- ・中央公民館（日高郡由良町網代248-12 ☎65-2418）
- ・衣奈会館（日高郡由良町衣奈765-7 ☎66-0921）
- ・白崎会館（日高郡由良町吹井910-2 ☎65-3510）

## 年頭に寄せて

新年明けましておめでとうございます。皆様方には健やかに新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

日頃より、学校教育、社会教育をはじめ本町の教育の振興と発展に、深いご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、世界中を席巻した新型コロナウイルスに翻弄された一年でした。緊急事態宣言や全国一斉の臨時休校要請が出されたりする中、社会経済活動はもとより、国民生活全般が激変しました。これほどの社会の変化は戦時下に例えられるほどのものでした。このウイルスは、表面に突起があり、見た目が王冠に似ていることから、ギリシャ語で王冠を意味する「コロナ」という名前が付けられたそうですが、最新の知見により徐々にウイルスの特徴が明らかになり、3密を避ける、手指消毒を徹底するなど「確かな情報」を理解し、冷静に向き合えば防げることが分かってきました。コロナ対策は文字通りウイルスとの闘いであり、人間の知恵と行動が試されていると言っても過言ではありません。

こうした中、公民館の目的である「学び・集い・つながり」の場が制限を余儀なくされる状態になり、文化協会主催の文化祭や公民館サークル活動等が中止になりました。新しい生活様式を徹底しながら公民館活動をどのように進めていくのか。「学びを止めずに、できることは何か。」公民館活動と感染対策という二律背反する課題に対峙し、「新しい生活様式」という視点から教室の開催や図書貸し出しを行ってきましたが、満足できるものではなく模索は続いています。

翻ってみると、私たちの生活はコロナの出現によっていわば家庭での「巣ごもり」状態になつたのではないでしょうか。コロナ禍の「巣ごもり」を余儀なくされる生活は、これまでの社会の在り方や自己を見つめ直す機会とも言えるのではないかと考えます。

さて、今年は「丑年（うしどし）」で、十二支の2番目の年です。「丑」は、「曲がる」「ねじる」を意味し、芽が出かかっているが、まだ曲がっていて伸びきれずに地上に出でていない状態を表しているとされます。希望の令和が始まったのも束の間、試練の幕が明けました。明るい未来と人間の理性を信じ、持続可能な社会を実現するための地域づくり、公民館の果たす役割を問い合わせていくことが求められています。

皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げ、新年のご挨拶いたします。

教育長 寒川 正美



中央公民館	・肉体のジーンダーを笑うな (山崎 ナオコーラ)
	・三度目の恋 (北野 武)
	・浅草迄 (川上 弘美)
	・同姓同名 (下村 敦史)
	・コーチ (堂場 瞬二)
	・今も未来も変わらない (長嶋 有)
	・真夜中のカーボーイ (山田 五郎)
	・あなたを閉じこめる「ずるい言葉」 (森山 至貴)
年頭に寄せて	・本を読めなくなつた人のための読書論

衣奈会館	・少年と犬 (駆 星周)
	・ラツキーマン (若山 陽一郎)
	・悪い姉 (渡辺 優)
	・一人称単数 (村上 春樹)
	・笑つて生きる (瀬戸内 寂聴)
	・ほたる茶屋 (藤原 緋沙子)
	・素晴らしい家族旅行上・下 (三シタケ シンスケ)
白崎会館	・児童書 (林 真理子)
	・ドリーム学習シリーズ
	・おしつこちよっぴりもれたろう (三シタケ シンスケ)
児童書	・復讐の協奏曲 (中山 七里)
	・そして、海の泡になる (葉真中 順)
	・屋根の上のおばあちゃん (藤田 芳康)
	・白日 (月村 了衛)
	・冬の狩人 (大沢 在昌)
白崎会館	・児童書 (月村 了衛)
	・水族館のサバイバル（1）（2） (「ムドリCO」)
	・ふしづぶしゆ どこいった? (テレビ東京)
	・あかちゃんのあそびえほん てあらいできるかな（きむら ゆういち）

児童書	・セリ (大根)
	・スズシロ (ハコベラ (ハコベ))
	・ハコベラ (ハコベ)
	・七草粥
白崎会館	・餅には稻の靈が宿ると言 われ、まず神仏に供え祝 賀の儀に用いられた。



# 【報告】中央公民館

## \*写真教室

11月1日（日）に、初心者のための写真教室を開催しました。講師は、藤本尚武さんで、写真の撮り方の基本を詳しく教えていただきました。

## \*英会話教室

11月の第1・第3木曜日午後7時30分から、英会話教室（全6回）を開催しています。講師は、ALT（外国语指導助手）のダン先生で、分かりやすく指導してくれています。

## \*書道教室

毎月第2日曜日、午後1時から3時まで書道教室を開催しています。講師は、小谷かおりさんで、個々に合わせた指導をしています。

## \*秋季山野草展示会

11月14日、15日に山野草展が開催されました。寒蘭、盆栽、山野草などが展出され、丹精込められた作品が数多く並んでいました。



### 【短歌】

もはや師に逢ふことなげむ白崎の歌碑のめぐりを秋陽あまねし  
朝風に金木犀の香のたかく黄のじゅうたんの如く敷き積む  
押し車頼りに野道歩ききて山に入りゆく夕陽を拝む  
庭先の枯草に縋るカマキリは動かざるままやはき陽を浴ぶ  
内緒話耳と耳をくつづけて何も聞こえぬ孫の頬温し  
晩秋の静けき雨の寒々と枯葉は小枝と別れゆくなり  
秋天を見上ぐる余裕の出でし日小さきプリンをわがために買ふ

### 【俳句】

木枯を引き裂いて行く救急車  
冬耕は只鋤き返すのみの景  
十三夜梅一粒を茶に沈め  
共に踏む大地のありて鱗雲  
金色の芒時空を止めてをり  
ねぎらいは一言で足り蜜柑選る  
神無月水筒に白湯注ぎをり  
いわし食べ男の命長くなる  
雨冷えの浜に流木横たはる  
泪目の鯰女は指で割く  
鰯靈出来立ての道自転車で  
暮れ色に光る鰯の網を引く  
冬めくや母の背のまた円くなる  
小春日や玄関に置くランドセル  
防空壕早や喜寿も過ぎ山紅葉  
これよりは海の上なり去ぬ燕

柳岡百合江  
吉村美恵子

# 【子どもセンターの「」案内】

今回は、最近購入した「しあげ絵本」を紹介します。「飛び出す絵本」といつた方がわかりやすいでしょうか。本を開くと折り畳まれたものに描かれた絵

が魔法のように飛び出し、そこはもうファンタジーの世界です。

一度見に来て下さい。子どもも大人も楽しめますよ。

「エンサイクロペディア 太古の世界 恐竜時代」



他にも、「フルバックで「ゴー」  
「ようせいのまほうがつこう」もあるよ。  
是非、見に来てね

## 【川柳】

「来光この一年の無事祈る  
紀の國の山より登る初日の出  
旅先で拝みたいもの初日の出  
昭和人日の出に祈る令和の日  
日の出から守られている自然の美  
初日の出見て今年頑張る夢がある  
手を合わせ無病息災祈ります  
お正月日の出の先に福見える  
日の出見に人が集まる初詣で  
施設にも令和の日の出さんさんと  
車窓からスマホで写す初日の出  
山を見て海をながめて日の出待つ

二本松せつ子

塙路弘子

中家かよ子

濱田順子

坂田順子

大西克恵

山下清美

伊藤秀一

上本郁子

片山綾子

北岡ゆみ

坂田妹子

小谷かおり

坂田ひとみ

高橋義巳

竹中桃代

田渕佳根

寺田由美

廣瀬峰雄

西川初枝

藤田薰

山下治子

# 【冬号・クイズ】

元日は、家族そろっておせち料理やお雑煮でお祝いし初詣をする。

7日正月には七草粥を食べ、1年の無病息災を祈願する。

11日は鏡開きで、刃物を使わずに鏡餅を割り、せんざいなどを作って家族の円満を願う。

昭和の時代に行われていたこれら行事は、様々な理由で年々見られなくなってきたのですが、日本古来の風習として後世に残したいものです。

さて、今回はお正月にちなんだ問題です。

問1・お正月にはなぜ鏡餅を飾るのでしょうか？次のの中から選んでください。

- 1) 保存食として、何日経っても美味しい食べられるから

- 2) その年の豊作を祈願し、新しい門出を祝う

- 3) ガラスのない時代の鏡は銅鏡で貴重なため、鏡のない家が多く鏡餅を鏡に見立てて飾った

問2・七草には、春の七草・秋の七草がありますが、七草粥に入れる春の七草のうちナズナ・ゴギョウ（ハハ「グサ」・ホトケノザ（コオニタビラコ）・ズズナ（カラブラ）のほかには、何があるでしょうか。



## 【会員募集中】



中央公民館・衣奈会館・白崎会館では

様々なサークル活動を行っています。

今日は、白崎会館で活動している

「押し花教室」を紹介します。

大切な思い出を届けてくれた花をずっと

そばに残したい。家庭で手塩にかけて育てた花を残したい。そんな思いを押し花によつて残しています。

教室では、一輪一輪の花や葉の形を活

かしながらアート作品を創造していく

という楽しみがあり、出来上がったときの感動があります。

教室は、毎月第2・第4土曜日の午後1時30分から午後4時まで行っていますので、これから始めたいと思う方は、是非一度見に来てください。

興味のある方は、

白崎会館（電話65-3510）

または、三好晴美（電話65-1902）

までお問い合わせください。

